

特別企画：アニメ制作会社の経営実態調査

2009年度の収入高総額は1648億3000万円、2年連続減少

～パチンコ業界との取引が好材料、一方で中小制作会社の収入低迷が目立つ～

はじめに

スタジオジブリの2年ぶりの新作『借りぐらしのアリエッティ』が7月に公開され、公開1カ月足らずで早くも観客動員数300万人を突破するなど話題を集めている。ピクサーによる『トイ・ストーリー3』も同時期に公開されヒット中であり、夏休みを利用して鑑賞に出かけた方も多いだろう。他にも『劇場版ポケットモンスター ダイヤモンド&パール 幻影の覇者 ゴロアーク』『ヒックとドラゴン』など、今夏はアニメ映画の話題作が目白押しだ。

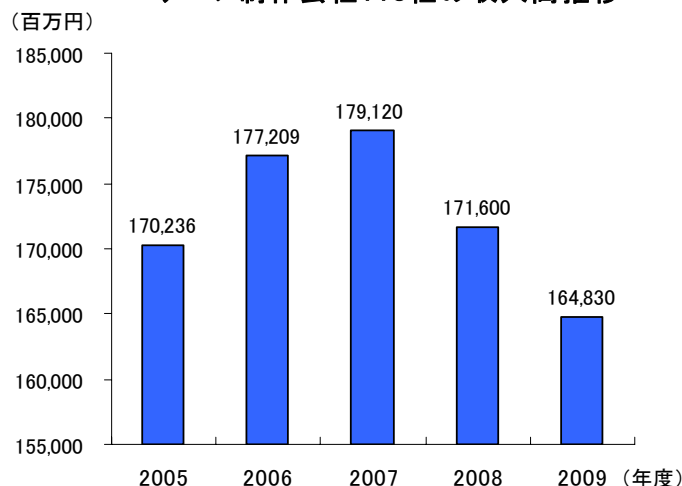
しかしその一方で、アニメ市場自体は縮小の一途をたどっている。日本映像ソフト協会によれば、2009年のビデオソフト売上金額は前年比4.2%減の2739億6300万円となっており、5年連続で減少が続いている。また日本動画協会によれば、2009年のテレビアニメの制作分数は「アニメバブル」がはじまった2005年以前の水準まで落ち込んでいるという。アニメ制作会社はDVD販売の不振と制作受注の減少という板挟みの状態にあり、厳しい事業環境に置かれている。

帝国データバンクでは、2010年7月末時点の企業概要データベース「COSMOS 2」から、アニメの制作を主業とする会社を抽出し、収益動向・所在地・規模などについて調査・分析を行った。なお、同様の調査は今回が初めて。

調査結果の要旨

2009年度（2009年4月～2010年3月期決算）の収入高総額は1648億3000万円（前年度比3.9%減）で、2年連続で減少した。特に著作権収入が行き渡りにくい中小に減収が多い。「増収」企業の中では、パチンコ会社と取引のある会社が目立った。所在地は約9割が東京に集中し、規模は従業員数が「10人以下」で資本金「1000万以下」の会社が42.0%を占めた。

アニメ制作会社118社の収入高推移



1. 収入高総額の推移 — 2007年度をピークに減少傾向

過去5期分の業績が判明した主要118社の収入高総額の推移をみると、最新期である2009年度の収入高総額は前年度比3.9%減の1648億3000万円となり、2007年度をピークに漸減していることがわかった。いわゆる「萌え系」を中心としたアニメブームがはじまったとされる2005年度の水準を割り込んだ。不況によりDVDやキャラクター商品の販売が低迷しており、制作会社を取り巻く環境は年々厳しいものとなっている。

主要118社の収入高総額の推移

年度	収入高総額 (百万円)	前年度比 (%)
2005	170,236	—
2006	177,209	4.1
2007	179,120	1.1
2008	171,600	▲ 4.2
2009	164,830	▲ 3.9

2. 収入高の前期比較 — 「増収」ではパチンコ業界と取引のある会社が目立つ

直近2期の収入高の増減をみると、2008年度は「増収」企業が51社であったのに対して、2009年度は38社まで減少した。一方で「減収」企業は前年度並みで推移し、総じて減収傾向にあったといえる。

2008・2009年度の収入高比較

年度	増収	減収	横ばい	合計
2008	51	56	27	134
2009	38	55	41	134

収入高規模別で2009年度の増減をみると、いずれ

の規模においても、「減収」が「増収」の割合を上回っていることがわかった。特に

「1億円未満」では「減収」が「増収」の2倍近くまで達しており、キャラクターの商品化権などの著作権収入が期待できる大手（例えば、東映アニメーションは『ドラゴンボール』『プリキュア』、トムス・エンタテインメントは『アンパンマン』『ルパン三世』などがある）に比べて、それが望めない中小では、制作収入の減少が経営を直撃する形となった。

収入高規模別（2009年度）

収入高規模	社数			合計
	増収	減収	横ばい	
100億円以上	2	2	0	4
10億円以上～100億円未満	9	11	3	23
1億円以上～10億円未満	25	30	30	85
1億円未満	7	12	8	27
合計	43	55	41	139

また、「増収」企業の中では、パチンコ業界と取引のある会社が目立った。同業界と取引を持つ21社をみると約半数が増収となっており、パチンコ台の著作権収入や、液晶画面用の映像作成

パチンコ業界と取引がある21社

年度	増収	減収	横ばい	合計
2009	10	5	6	21

の受注などが好材料となった。代表的な企業に、『新世紀エヴァンゲリオン』のガイナックスや、三共の子会社である『創聖のアクエリオン』のサテライトなどがある。

3. 所在地 — 約9割が東京に集中

アニメ制作会社の本社所在地は、「東京」が 92.0%を占めた。東京都内では「練馬区」が 26 社、「杉並区」が 25 社、「渋谷区」が 19 社と続いた。「23 区外」にも 27 社があり、都内西部に集中している。

その一方で、制作工程のデジタル化が進みデータのやり取りが容易になり、地方に拠点を置く会社も増えてきた。京都アニメーション（京都府宇治市）やピーエーワークス（富山県南砺市）などが代表的だ。また、スタジオジブリが人材育成を目的に「西ジブリ」を愛知県のトヨタ自動車本社内に立ち上げたほか、ユーフォーテーブルが徳島県にスタジオを開設し、阿波踊りのPRポスターなどの地元関連の仕事を手がけるといった動きがある。

所在地	社数	構成比
東京	160	92.0%
埼玉	5	2.9%
大阪	2	1.1%
富山	2	1.1%
その他	5	2.9%
合計	174	100.0%

4. 規模 — 従業員数「10 人以下」・資本金「1000 万以下」が 42.0%

規模では、従業員数が「10 人以下」で、資本金が「1000 万以下」の会社が 42.0%を占めた。それらの多くが下請け・孫請けで受注する末端の零細企業である。また、代表が業界内で経験を積んだ後、経験と人脈を生かして新たに少人数で会社を立ち上げるケースが多く見られる。

※カッコ内は構成比

	従業員10人以下	10人超～50人以下	50人超～100人以下	100人超	合計
資本金1000万円以下	73 (42.0%)	34 (19.5%)	8 (4.6%)	2 (1.1%)	117 (67.2%)
1000万円超～5000万円以下	13 (7.5%)	13 (7.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	26 (14.9%)
5000万円超～1億円以下	2 (1.1%)	5 (2.9%)	4 (2.3%)	0 (0.0%)	11 (6.3%)
1億円超	2 (1.1%)	3 (1.7%)	9 (5.2%)	6 (3.4%)	20 (11.5%)
合計	90 (51.7%)	55 (31.6%)	21 (12.1%)	8 (4.6%)	174 (100.0%)

5. 業歴 — トップはトムス・エンタテインメント

業歴（設立年ベース）では、最も長い業歴の会社はトムス・エンタテインメント（1946年10月設立）となった。2位に東映アニメーション（1948年1月設立）、3位にぴえろプラス（1959年3月設立）と続く。

業歴	社数	構成比
30年超	37	21.3%
20年超～30年以下	31	17.8%
10年超～20年以下	55	31.6%
10年以下	51	29.3%
合計	174	100.0%

6. まとめ

「萌え系」を中心としたアニメブームは終息し、深夜アニメなどの放映枠は減少傾向にある。それに加えてインターネット上に氾濫する無料動画サイトの存在もあり、収益の大半をDVD販売で回収する従来の事業モデルでは収益の見込みが立たなくなり、出資者が集まらずにアニメ制作自体が行いにくくなっているのが現状だ。

このようにテレビアニメの放映数が減少する一方で、映画作品は好調である。2009年は『エヴァンゲリオン新劇場版：破』や『サマーウォーズ』、『ワンピースフィルム ストロングワールド』などがヒットしており、それぞれ数十億の興行収入を上げている。また、上映館数が数館から数十館という小規模で公開された作品がマニア層を中心にヒットするケースも増えており、新たなビジネスモデルとして注目されている。注目の『借りぐらしのアリエッティ』をはじめとするアニメ映画が縮小する市場を食い止めることができるのか、今後の動向が期待される。

参考：主なアニメ制作会社の収入高

TDB 企業コード	企業名	代表作	上場	所在地	2007年度 収入高 (百万円)	2008年度 収入高 (百万円)	2009年度 収入高 (百万円)	2007年度 前年度比 (%)	2008年度 前年度比 (%)
980828555	東映アニメーション (株)	『ドラゴンボール』『ワンピース』『プリキュア』	JASDAQ	東京都	20,247	20,943	20,181	3.4	▲ 3.6
982691842	(株) サンライズ	『機動戦士ガンダム』『コードギアス』	未上場	東京都	12,126	11,600	9,500	▲ 4.3	▲ 18.1
400039731	(株) トムス・エンタテインメント	『それいけアンパンマン!』『名探偵コナン』	名証2部	東京都	14,589	11,556	9,320	▲ 20.8	▲ 19.3
982946745	(株) びえろ	『NARUTO』『BLEACH』	未上場	東京都	5,092	5,061	4,946	▲ 0.6	▲ 2.3
970214203	(株) プロダクション・アイジー	『攻殻機動隊』『スカイ・クロラ』	未上場	東京都	-	2,770	4,220	-	52.3
986666374	(株) マッドハウス	『時をかける少女』『サマーウォーズ』『NANA』	未上場	東京都	3,900	4,500	4,000	15.4	▲ 11.1
983144302	(株) ガイナックス	『新世紀エヴァンゲリオン』『天元突破グレンラガン』	未上場	東京都	2,640	2,500	3,300	▲ 5.3	32.0
987188388	(株) オー・エル・エム	『ポケットモンスター』『たまごっち!』	未上場	東京都	3,309	2,580	3,127	▲ 22.0	21.2
981078781	(株) ゴンゾ	『プリブストーリー』『カレイドスター』	未上場	東京都	4,807	3,374	2,320	▲ 29.8	▲ 31.2
982483492	日本アニメーション (株)	『ちびまる子ちゃん』『世界名作劇場』	未上場	東京都	2,280	2,175	2,040	▲ 4.6	▲ 6.2
970147611	(株) スタジオジブリ	『千と千尋の神隠し』『崖の上のポニョ』	未上場	東京都	3,400	13,000	未詳	282.4	-

※(株)プロダクション・アイジーは親会社の(株)IGポートがJASDAQ上場

※一部推定値含む

※(株)ゴンゾは2009年7月に東証マザーズ上場廃止

【内容に関する問い合わせ先】

(株) 帝国データバンク 本社産業調査部 担当：相馬道広

TEL 03-5775-3073 e-mail: michihiro.souma@mail.tdb.co.jp

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および無断引用を固く禁じます。